

編集後記

『哲学の探求』第41号が無事完成いたしました。この編集後記を書くのが差し当たり最後の仕事となるはずです。たいへんほっとしております。今号も前号に負けず劣らずの執筆者数で、多種多様な論考がこの雑誌の中に収録されています。フォーラム当日から引き続き、さらなる活発な議論が展開されることになれば幸いです。ひとつ残念な点として、諸事情によりテーマレクチャーに関する論文が収録できなかったことが挙げられますが、それでもなお内容は充実したものとなったと思っています。

予定通りであれば、もう少し早くに入稿が完了しているはずだったのですが、なかなか予定通りに仕事は進まず、結果的に関係者のみなさまにご迷惑をおかけすることになってしまいました。この場を借りてお詫び申し上げます。

てんやわんやの編集担当を冷静に助けてくださった現世話人および元世話人のみなさまに感謝いたします。そして、愚痴を聞いたり励ましたりしてくださった科史科哲研究室のみなさまにもぜひひとことお礼を申し上げたいと思います。この仕事はとても1人ではできませんでした。最後に、お忙しいところ原稿を執筆してくださった執筆者のみなさまにも厚い感謝とお礼を申し上げます。

編集 林 禅之

